

第2章 三島市を取り巻く主な現状と課題

三島市では、平成28年度から令和2年度を計画期間とする第3次地域福祉計画を中心に、地域福祉の推進に取り組んできました。第4次となる本計画を策定するにあたり、三島市の現状や課題を把握するため、地域福祉に関わる各種統計データや市民アンケート調査、団体ヒアリング調査、第3次計画の検証などから、三島市の地域福祉における主な現状と課題を整理した結果、次のとおりとなりました。

現状と課題の整理
①少子高齢化による人口減少傾向にあり、単独世帯や夫婦のみの世帯が増加傾向にあるなど核家族化が進行しています。
②高齢者の単独世帯の増加や、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳所持者数の増加など、福祉を必要とする地域住民は増加傾向にあります。
③地域住民等が福祉活動により関心をもって参加するきっかけづくりへの工夫が求められています。
④緊急時にも対応できるよう、日頃からの住民同士の交流機会と防災意識の向上促進が重要視されています。
⑤バリアフリー化をはじめ、道路や交通手段の整備など、誰もが安心して暮らせる、活動しやすい環境の整備が求められています。
⑥地域と福祉をつなぎ、地域間連携を推進するコーディネーターなどの人材確保・育成支援に対する仕組みづくりの推進と工夫が求められています。
⑦地域活動団体の高齢化や担い手不足、地域コミュニティの希薄化などから、地域活動団体等による地域や世代を超えた活発な取組が進められる環境づくりが求められています。
⑧複合的な問題を抱えているひとり親家庭や生活困窮家庭、外国人家庭など、制度の狭間にいる家庭の現状把握をはじめとした適切な対応が求められます。
⑨地域、活動団体、関係機関、行政などが連携・協働して地域福祉を推進する体制づくりが、今後さらに重要になります。